

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 4 月 24 日 (2014.4.24)

【公開番号】特開 2012-201716 (P2012-201716A)
 【公開日】平成 24 年 10 月 22 日 (2012.10.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-043
 【出願番号】特願 2011-65249 (P2011-65249)
 【国際特許分類】

C 0 8 J 5/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 5/24 C F C

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 12 日 (2014.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の強化繊維を引き揃えてシート状繊維束とし、複数本の前記シート状繊維束を引き揃えて、かつ横方向に隣接する側端部同士を重ね合わせて配列して強化繊維シートとし、前記強化繊維シートに、30 における粘度が $10^1 \sim 10^5 \text{ Pa} \cdot \text{sec}$ である樹脂組成物を含浸させてプリプレグを得る、プリプレグの製造方法。

【請求項 2】

隣接する前記シート状繊維束を、端から順次上に重ねていくことを特徴とする、請求項 1 に記載のプリプレグの製造方法。

【請求項 3】

隣接する前記シート状繊維束を、上下交互に重ねることを特徴とする、請求項 1 に記載のプリプレグの製造方法。

【請求項 4】

前記側端部同士の重ね合わせ幅が、前記シート状繊維束の幅の 8 分の 1 以上 2 分の 1 以下である、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のプリプレグの製造方法。

【請求項 5】

前記強化繊維シートの目付けが 190 gsm 以上である、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のプリプレグの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

即ち本発明の要旨は、複数の強化繊維を引き揃えてシート状繊維束とし、複数本の前記シート状繊維束を引き揃えて、かつ横方向に隣接する側端部同士を重ね合わせて配列して強化繊維シートとし、前記強化繊維シートに、30 における粘度が $10^1 \sim 10^5 \text{ Pa} \cdot \text{sec}$ である樹脂組成物を含浸させてプリプレグを得る、プリプレグの製造方法、である。